

4-1 伊豆半島およびその周辺の地震活動（1989年11月～1990年5月）

Seismic Activity in and around the Izu Peninsula (November, 1989 – May, 1990)

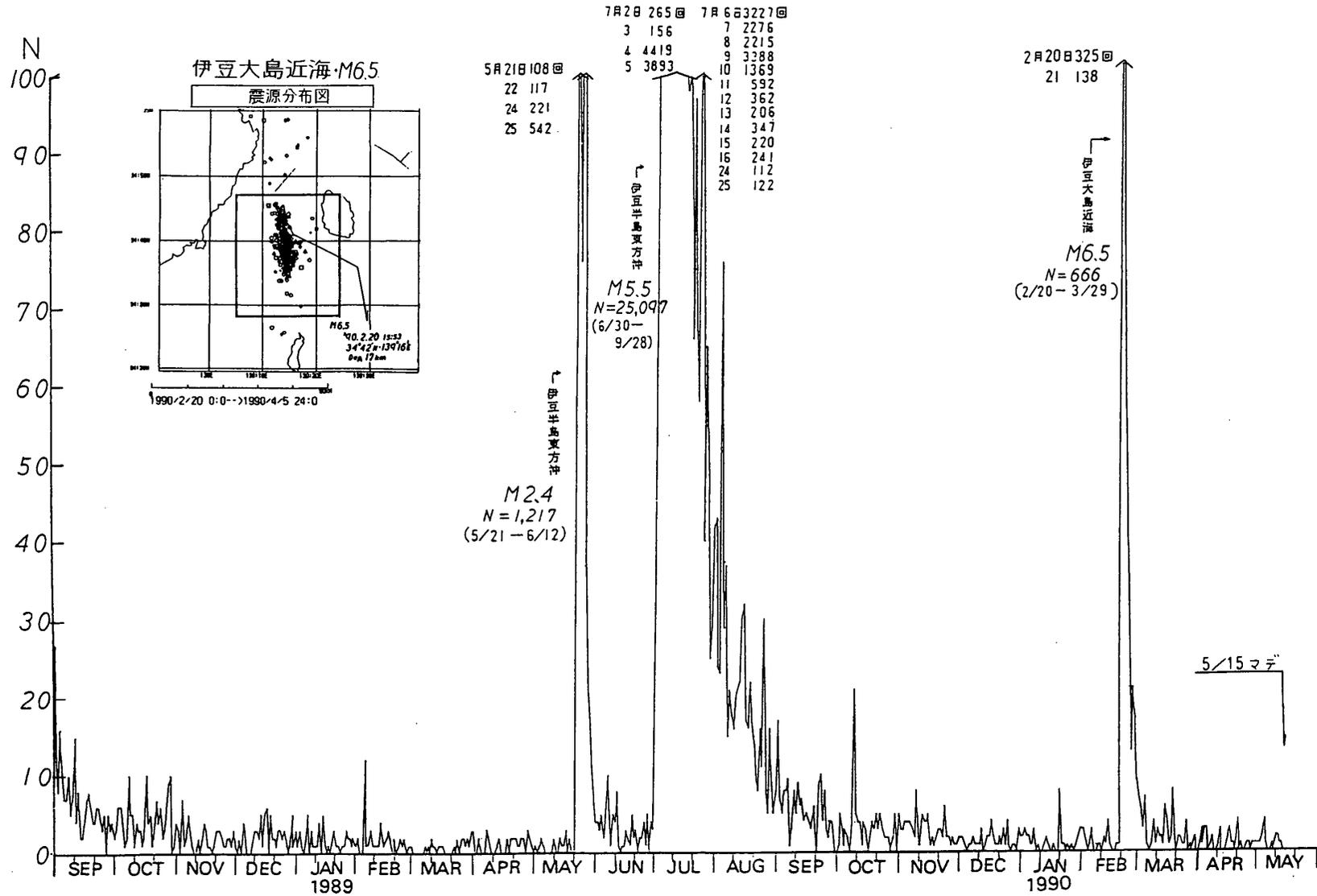
気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

この期間、伊豆半島周辺では、伊豆大島近海で2月20日15時53分にM6.5の地震が発生、その後かなり活発な余震活動が続いた。このため、伊東市鎌田における地震回数が急増した（第1図）。活動は3月29日まで続いて一段落したが、地震回数は計666回（うち有感は45回）を記録した。図中には、本震・余震の分布を示したが、南北に細長く伸びる形（約25km長）となった。なお、この活動についての詳細は別項*参照。伊豆半島東方沖では、特に目立った活動はなかった。

注：*は「伊豆大島近海の地震（1990年2月20日・M6.5）」。なお、本震の位置は、再計算の結果、これより北の余震域北端部となった。

鎌田（伊東市）における日別地震回数（ $S-P \leq 6.0$ sec）



第1図 伊東市鎌田における日別地震回数（ $S-P \leq 6.0$ 秒）

Fig. 1 Daily number of earthquakes observed at Kamata. ($S-P \leq 6.0$ sec.)